

エコアクション21

環境経営レポート

期間：2023年度
(2023年2月1日～2024年1月31日)



発行：2024年4月1日



株式会社
エコ医療クリーン

目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 環境経営方針
4. 実施体制
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果
と次年度の取組内容
8. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の
結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1.組織の概要

(1)組織の名称、代表者氏名及び所在地

株式会社 エコ医療クリーン

代表取締役 志田 由美

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町2085番地

(2)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 猿田 秀一

担当者 猿田 秀一

連絡先 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町2085番地

TEL 045-633-1887

FAX 045-633-1888

e-mail s-saruta@eco-iryo.co.jp

(3)事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業

(4)事業の規模

資本金 2,000万円

設立年月日 2004年11月29日

活動規模	単位	2023年度
収集運搬量 (感染性廃棄物・廃プラスチック類)	t	2536.4
売上高	百万円	441
従業員	人	13
床面積	m ²	514.8

2.対象範囲(認証・登録範囲)

対象活動：産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業

対象組織：本社

産業廃棄物収集運搬業許可取得内容

許可地域	許可年月日 許可有効年月日	許可番号	産業廃棄物の種類(積み替え保管を除く)																			
			燃えが ら	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラスチック類	ゴ ムくず	金 属くず	ガ ラスくず	鉱 さい	が れき類	ば いじん	紙 くず	木 くず	繊 維くず	動 植物性残さ	動 物系固形不 要物	動 物のふん尿	動 物の死 体	第13号廃棄物
東京都	R3.7.24 R8.7.23	第13-00-116906号	○			○	○	○	○	○	○				○	○	○	○			○	
神奈川県	R3.12.20 R8.9.3	01402116906	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○			○	
静岡県	R1.12.12 R6.12.11 ※許可更新申請予定	第02201116906号						○	○	○	○											
埼玉県	R2.11.25 R7.11.24	01100116906		○	○	○	○	○		○	○							○	○	○	○	
千葉県	R2.11.6 R7.11.5	第01200116906号		○	○	○	○	○		○	○							○				
茨城県	R3.1.19 R8.1.18	00801116906		○	○	○	○	○		○	○							○				

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得内容

許可地域	許可年月日 許可有効年月日	許可番号	特別管理産業廃棄物の種類(積み替え保管を除く)																		
			引火性廃油	廃油／ 特定有害産業廃棄物	強酸	廃酸／ 特定有害産業廃棄物	強アルカリ	強アルカリ／ 特定有害産業廃棄物	感染性廃棄物	廃石綿類	鉱さい／ 特定有害産業廃棄物	燃えがら／ 特定有害産業廃棄物	汚泥／ 特定有害産業廃棄物	ばいじん／ 特定有害産業廃棄物							
東京都	R2.3.22 R7.3.21	第13-50-116906号							○												
神奈川県	H27.3.24 R9.3.15	01452116906	◎						◎												
静岡県	H27.6.20 R7.6.19	第02251116906号							○												
埼玉県	R2.11.25 R7.11.24	01150116906	○		○			○	○												
千葉県	R2.11.6 R7.11.5	第01250116906号	○		○			○	○												
茨城県	R3.1.19 R8.1.18	00851116906	○		○			○	○												

※ ◎ 優良認定

収集運搬車両一覧

種 類	最大積載量等	台 数
保冷車(2 t 車)	2,000 k g	8台
保冷車(①軽パン)・(②1 t 車)	①350 k g ②1,000 k g	①1台②1台
合 計		10台

3.環境経営方針

基本理念

当社は「廃棄物の収集運搬業」を通して、環境経営を進めることにより、環境に優しい社会の実現に貢献します。『エコでクリーンな地球を未来に』を理念として子供たちの未来に豊かな自然環境を残すために、国の推進する循環型社会の実現、地球環境保全に貢献します。

行動指針

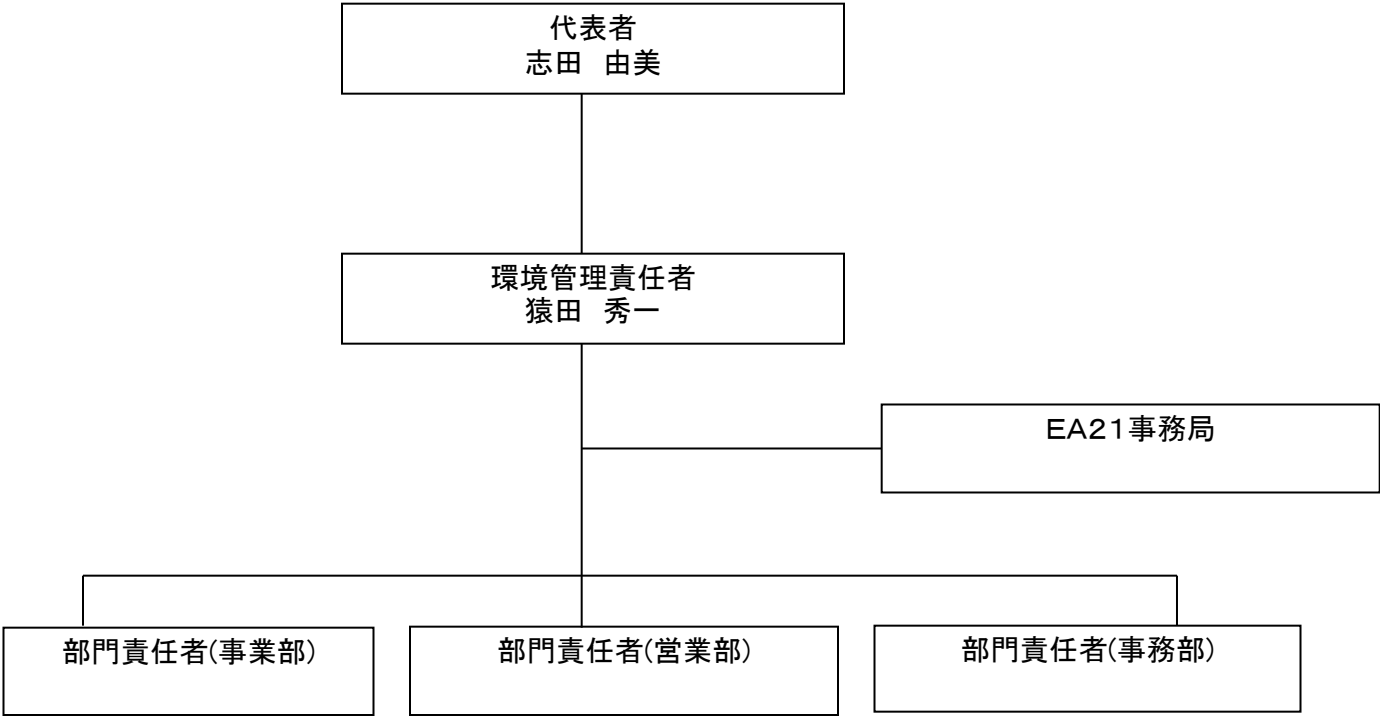
当社は上に掲げた基本理念に基づき、事業活動における環境への影響を社員全員が理解し、以下の項目につき積極的に取り組みます。

1. 国・地方自治体などの環境に関連する規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、継続的に汚染の予防に努めます。
2. 環境経営の活動は、継続的改善を実施します。
3. 地球環境保護のために、省資源・省エネルギー活動を推進します。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 燃料(軽油、ガソリン等)使用量の削減
 - ③ 電気使用量の削減
 - ④ 水の節水を心がける
 - ⑤ 廃棄物排出量の削減
4. 資材や車両等の購入において環境負荷の低減を図り広く環境保全活動に寄与します。
 - ・再生資源を使用した回収容器の使用、推進を目指します。
 - ・ハイブリットカー等の低排出ガス車両の購入を推進します。
5. 環境経営方針は、すべての従業員に周知します。

制定 2019年8月1日
改定 2019年11月1日
改定 2020年2月1日
改定 2022年10月1日

株式会社 エコ医療クリーン
代表取締役 志田 由美

4. 実施体制



	役割・責任・権限
代表者	1. 実施体制の構築、環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境経営方針を理解し、環境活動計画に従って活動する。

5.環境経営目標

環境経営目標	基準(実績)	実績	目標
	2018年度	2022年度	2023年度
	運用期間相当	運用期間	運用期間
	通年(2018年2月 ～2019年1月)	通年(2022年2月 ～2023年1月)	通年(2023年2月 ～2024年1月)
1. 二酸化炭素排出量の削減	(排出量) 総量 76,916 kg-CO ₂	(排出量) 総量 102,811 kg-CO ₂	(排出量) 3.2%削減 74,454 kg-CO ₂
1-①電力使用量の削減 (二酸化炭素排出係数: 0.462kg-CO ₂ /kWh)	(使用量) 7,516 kWh	(使用量) 8,279kWh	3.2%削減 7,275kWh
1-②自動車燃料(軽油)使用量の削減 (二酸化炭素排出係数: 2.62kg-CO ₂ /L)	(処理量当り) 12.96 L/t (34kg-CO ₂ /t)	(処理量当り) 13.5L/t (34.89kg-CO ₂ /t)	3.2%削減 12.54 L/t (32.91kg-CO ₂ /t)
1-③自動車燃料(ガソリン)使用量の削減 (二酸化炭素排出係数: 2.32kg-CO ₂ /L)	(売上高当り) 20.2L/売上高 (47.1kg-CO ₂ /売上高)	(売上高当り) 12.1L/売上高 (28.1kg-CO ₂ /売上高)	3.2%削減 19.5L/売上高 (45.5kg-CO ₂ /売上高)
2. 一般廃棄物排出量の削減	(排出量) 0.240 t	(排出量) 0.199 t	3.2%削減 0.232 t
3. 水の節水	(水使用量) 36 m ³	維持管理 49.5m ³	維持管理 36m ³
4. 再生材使用ポリ容器の使用拡大 (使用率)	(使用量) 12,200箱 85%	(使用量) 19800箱 88.2%	3.2%増量 12,590箱 88.2%
5.省エネ対策 (ハイブリッドカー等の購入)	 3台購入	 2台購入	 -

1) 電力のCO2排出係数:東京電力エナジーパートナー(株)2018年公表値の調整後排出係数0.462kg-CO2/kWhを使用。

2) 原単位算出の根拠は2018年度の実績値、売上高233百万円・処理量1837tをもとにしています。

3) 当社では化学物質等を使用していません。

環境経営目標	実績	実績	目標	中期目標	中期目標
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (2025年2月 ～2026年1月)	2026年度 (2026年2月 ～2027年1月)
	運用期間	運用期間	運用期間		
	通年(2022年2月 ～2023年1月)	通年(2023年2月 ～2024年1月)	通年(2024年2月 ～2025年1月)		
1. 二酸化炭素排出量の削減	(排出量) 総量 102,099 kg-CO ₂	(排出量) 総量 105,658 kg-CO ₂	(排出量) 3.2%削減 98,831 kg-CO ₂	(排出量) 3.3%削減 98,729 kg-CO ₂	(排出量) 3.4%削減 98,627 kg-CO ₂
1-①電力使用量の削減 (二酸化炭素排出係数: 0.376kg-CO ₂ /kWh)	(使用量) 8,279kWh	(使用量) 7,802kWh	3.2%削減 8,014kWh	3.3%削減 8,005kWh	3.4%削減 7,797kWh
1-②自動車燃料(軽油)使用量の削減 (二酸化炭素排出係数: 2.62kg-CO ₂ /L)	(処理量当り) 13.5L/t (34.89kg-CO ₂ /t)	(処理量当り) 13.8L/t (35.70kg-CO ₂ /t)	3.2%削減 13.06 L/t (33.77kg-CO ₂ /t)	3.3%削減 13.05 L/t (33.73kg-CO ₂ /t)	3.4%削減 13.04 L/t (33.70kg-CO ₂ /t)
1-③自動車燃料(ガソリン)使用量の削減 (二酸化炭素排出係数: 2.32kg-CO ₂ /L)	(売上高当り) 12.1L/売上高 (28.1kg-CO ₂ /売上高)	(売上高当り) 11.8L/売上高 (27.56kg-CO ₂ /売上高)	3.2%削減 11.7L/売上高 (27.2kg-CO ₂ /売上高)	3.3%削減 11.7L/売上高 (27.1kg-CO ₂ /売上高)	3.4%削減 11.6L/売上高 (27.1kg-CO ₂ /売上高)
2. 一般廃棄物排出量の削減	(排出量) 0.199 t	(排出量) 0.218 t	3.2%削減 0.192 t	3.3%削減 0.192 t	3.4%削減 0.192 t
3. 水の節水	維持管理 49.5m ³	維持管理 48m ³	維持管理 49.5m ³	維持管理 49.5m ³	維持管理 49.5m ³
4. 再生材使用ポリ容器の使用拡大 (使用率)	(使用量) 19800箱 88.2%	(使用量) 20,640箱 89.5%	3.2%増量 20,433箱 91.4%	3.3%増量 20,453箱 91.5%	3.4%増量 20,473箱 91.6%
5. 省エネ対策 (ハイブリッドカー等の購入)	2台購入	2台購入	1台購入	-	-

1) 電力のCO2排出係数:東京電力エナジーパートナー(株)2022年公表値の調整後排出係数0.376kg-CO2/kWhを使用。
2) 原単位算出の根拠は2022年度売上高422百万円・処理量2496.78tとなります。
3) 当社では化学物質を使用していません。

6.環境経営計画

基準年度:2018年度			評価 ○:達成 ×:未達		□:計画 ■:実施												
NO.	項目	年度目標(2022年度) 運用期間2月～1月	達成手段	責任者	2023年												2024
					2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
	実績収集運搬量	2536.4t(トン)															
1	二酸化炭素排出量の削減	年度目標 3.2%削減(→96.8%) 76.916kg→74.454kg	・電力、化石燃料使用量の削減 ・低公害車・低燃費車の導入 ・走行ルートの効率化 計画排出量(kg-CO2) 実績排出量(kg-CO2)	管理													
				責任者	実施案作成												
				猪田	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
									37,227							74,454	
									52,460							106,329	
				評価	×												
1-①	電力使用量の削減 (処理量当り)	年度目標 3.2%削減(→96.8%) 7.516kwh→7.275kwh	・照明、電化製品の 不使用时電源OFF ・エアコン温度設定最適化 計画電力使用量(kwh) 実績電力使用量(kwh) 同 累計(kwh) 寒期電力使用量(kwh)	猪田	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
					1213	1046	536	465	416	425	655	701	546	362	571	866	
																7,275	
					1,213	2,259	2,795	3,260	3,676	4,101	4,756	5,457	6,003	6,365	6,936	7,802	
				評価	×												
1-②	自動車燃料(軽油)使用量の 削減 (処理量当り)	年度目標 3.2%削減(→96.8%) 12.96L/t→12.54L/t	・アイドリングストップの実行 ・夏季冬季以外のカーエアコンの抑制 ・走行ルートの効率化 実績燃料使用量(L) 同 累計(L) 実績燃料使用量/処理量(L/t)	事業部門	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				責任者	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
					2,758	3,089	2,679	2,880	2,898	2,863	3,214	3,075	2,829	2,829	2,812	3,178	
					2,758	5,846	8,526	11,406	14,304	17,166	20,381	23,456	26,284	29,113	31,925	35,103	
				評価	×												
1-③	自動車燃料(ガソリン)使用量 の削減 (売上高当り)	年度目標 3.2%削減(→96.8%) 20.2L/売上高 →19.5L/売上高	・アイドリングストップの実行 ・夏季冬季以外のカーエアコンの抑制 実績燃料使用量(L) 同 累計(L) 実績燃料使用量/売上高(L/売上高)	猪田	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
					374	483	431	401	448	568	439	371	436	436	409	445	
					374	857	1,288	1,689	2,137	2,706	3,144	3,516	3,951	4,387	4,796	5,241	
				評価	○												
2	一般廃棄物排出量の削減 (排出量)	年度目標 3.2%削減(→96.8%) 0.240t→0.232t	・一般廃棄物の分別徹底 ・ミックスペーパーの分別 計画排出量累計(t) 実績排出量(t) 同 累計(t)	事務部門	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				責任者	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
					0.015	0.014	0.018	0.019	0.020	0.017	0.019	0.020	0.022	0.018	0.020	0.016	
					0.015	0.029	0.047	0.066	0.086	0.103	0.122	0.142	0.164	0.182	0.202	0.218	
				評価	○												
3	水の節水 (水使用量)	維持管理として目標 数値は設定せず。	・洗車方法の改善 (月二回とし、高圧洗浄機、バケツ を使用する。) 維持管理 累計使用量(m3)	事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				評価	○												
4	再生材使用ポリ容器の 使用拡大	年度目標 3.2%増量(→88.2%) 12,200箱→12,590箱	・顧客への積極的な切り替え提案 計画使用量累計(箱) 実績使用量(箱) 同 累計(箱)	猪田	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
					1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830	
					1,830	3,660	5,490	7,320	9,150	10,980	12,810	14,640	16,470	18,300	20,130	21,960	
				評価	○												
5	省エネ対策 (ハイブリットカーの購入)		・増車、車両買い替えの際 ハイブリット車等の低燃費車を選択	営業部門	□	□	□	□	□	□	□	■	◆	□	□	□	
				責任者	◆一台HV車、入れ替え ■一台ガソリン車、増車												
				評価	○												
NO.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項(定期、臨時)	評価・確認結果、コメント、是 正処置等													
1	2024.2.1	猪田		数値目標について電力使用量、軽油使用量、CO2総排出量以外の目標を達成した。 電力使用量については冷暖房の設定温度を守っていないことがあった。但し、夏場は熱中症等の危険もある為、 安全な範囲で設定温度を守っている。軽油使用量については定期的な配達ルートが増え、一台増車になった。 ため達成できなかったと思われる。運行ルートの見直しを定期的に行い、軽油使用量を削減していく。													

7.環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果と次年度の取組内容

環境経営計画	単位	取組結果とその評価(2023年2月～2024年1月)			
		環境目標	実績	達成状況	評価及び次年度の取組内容
1.二酸化炭素排出量の削減	Kg-co2	3.2%削減 74,454	106,329	×	運搬ルート of 効率化やエコ運転の徹底に努めたが売上・収集運搬量増加・定期的な配送ルート of 増加に伴い一台増車・増員した為CO2排出量も大幅に増加した。
1-①電力使用量の削減	kwh	3.2%削減 7,275	7,802	×	照明、電化製品の不使用時電源オフの徹底及びエアコン設定温度 of 最適化等に努めたが、目標未達となった。 冷暖房 of 設定温度を守っていないこと等に起因するとみられる。但し特に夏場は熱中症等の危険もある為、安全な範囲で設定温度を守っていく。 引き続き継続して照明等の電源オフ徹底等に取り組んでいく。
1-②自動車燃料(軽油)使用量の削減	L/t (処理量当たり)	3.2%削減 12.54	13.8	×	アイドリングストップ of 実行、カーエアコン of 抑制、運搬ルート of 効率化に努めたが、目標未達となった。 コロナによる排出個数 of 増加に伴い、車両を増車したことに起因するとみられる。 引き続き継続して特に運搬ルート of 効率化に取り組んでいく。
1-③自動車燃料(ガソリン)使用量の削減	L/売上高 (売上高当たり)	3.2%削減 19.5	11.9	○	アイドリングストップ of 実行、カーエアコン of 抑制等により目標達成した。引き続き継続して特にアイドリングストップ of 実行に取り組んでいく。
2.一般廃棄物排出量の削減	t	3.2%削減 0.232	0.218	○	ミックスペーパー of 分別をし、一般廃棄物 of 減量化につながった。 引き続き分別 of 周知徹底をする。
3.水 of 節水	m3	維持管理	維持管理	—	洗車 of 回数を決め、高圧洗浄機やバケツを使用した。引き続き水 of 節水に取り組んでいく。
4.再生材使用ポリ容器 of 使用拡大 (使用率)	箱 %	3.2%増量 12,590箱 88.2%	21,960箱 88.2%	○	再生材ポリ容器 of 積極的な切り替え提案を行ったことにより目標達成した。 引き続き切り替え提案をしていく。
5.省エネ対策 (ハイブリットカー等 of 購入)	台	2台購入	2台購入	○	一台低燃費車・一台ハイブリッド車を購入した。

○:目標達成 ×:目標未達成

※購入電力 of 排出係数0.462kg-CO2/kwh

※2023年度 売上高441百万円 処理量2536.4t

8.環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

関係法規	該当設備等	確認
廃棄物処理法	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物、一般廃棄物	○
資源有効利用促進法	パーソナルコンピューター	○
自動車NOX・PM法	収集運搬車両	○
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫	○
自動車リサイクル法	収集運搬車両及び社用車	○

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去三年間ありません。

9.代表者による全体評価と見直しの結果

2024/2/1

(1)全体評価

運搬ルート of 効率化等に努めたが、CO2排出量・電力使用量・軽油使用量の目標数値は未達となった。

CO2排出量・軽油使用量未達の原因としては廃棄物排出個数の増加に伴う定期的な運搬車両の増車、増員に起因すると思われる。

電力使用量については冷暖房の設定温度を守っていないことがあったこと等に起因すると思われる。但し夏場は熱中症等の危険もある為、安全な範囲で設定温度を守っていく。

処理(運搬)量当たりの軽油使用量についても目標未達となった為、再度、運搬ルートの効率化及びアイドリングストップの励行していく。

達成できている項目も多い為、環境経営方針等について大幅な変更の必要性はないと判断したが、次回より基準年度を2022年に変更する。※2018年度の月々のデータがない為。

次回CO2排出量・電力使用量・軽油使用量の目標達成できるよう、さらに環境負荷への低減につながる取組をしていく。

(2)見直し指示

- ・今後も運搬ルートのさらなる効率化やエコ運転の徹底を行い、引き続き目標達成できるよう取組を進めていく事。
- ・各月のデータと比較し定期的に目標を意識していく事。